

宮崎市「事務事業の外部評価」 事業別判定結果シート

チーム名	第 2 チーム	担当課名	長寿支援課
事業番号	2-3	事務事業名	敬老祝金支給事業

判定結果	見直しが必要
------	--------

【結果内訳】

判定		判定理由	
選択人数	区分	選択人数	項目（複数選択可）
3	不要 (廃止)	1	① 事業の趣旨・目的に妥当性がない。
		3	② 目的を達成する手段として、他の手法が考えられる。
		1	③ 市民ニーズ(需要)や時代変化により、事業が役割を終えている、又は役割が小さくなっている。
		2	④ 事業の効果がなくなっている、又は薄れてきている。
		5	⑤ 個人が自助努力・自己負担することが適当である。
		6	⑥ 民間が実施すべきである(行政の役割終了・民間の方が効率的にできる等)。
		7	⑦ 国又は県が実施すべきである(国・県で実施する方が効果的・効率的、国・県で同じサービス水準により実施すべき等)。
		1	⑧ その他
4	見直しが必要	3	① 事業規模(サービスの受給者・水準等)を縮小できる可能性がある。
		2	② 事業の目標や目標期限などの見直しが必要である。
		3	③ 他の事業との統合を検討すべきである。
		2	④ 実施方法の見直しにより経費削減の余地がある。
		1	⑤ 財源確保(負担の見直し、国・県の支援等)について検討すべきである。
		6	⑥ 外部委託、市民協働・参画などを検討する余地がある。
		7	⑦ その他
0	現行どおり	1	① 現在の事業内容・手法で行うことが妥当である。
		2	② 事業を拡充する必要がある。

【判定人からのコメント】

○「見直しが必要」とした判定人の主なコメント	○その他の判定人の主なコメント
<p>①高齢者福祉事業全体の中での位置付けを検討する必要がある。</p> <p>②旧清武町域を早急に統一すべきである。</p> <p>③100歳節目支給とし、99歳以上は削減すべきである。</p> <p>④メッセージや記念品を直接支給する取り組みを検討すべきである。</p> <p>⑤市の負担が増加するばかりであり、国への働きかけ等の検討をしたらどうか。</p>	<p>⑥生きがいづくりや高齢者福祉の判断は難しいので、事業目的を再検証すべきである。</p> <p>⑦対象者の見直しをすべきである。</p> <p>⑧目的に対しての成果が見えてこない。</p> <p>⑨生きがいづくりを支援する事業を検討すべきではないか。</p> <p>⑩一度廃止して、新たな制度(現金支給でも良いが)を考えた方が良いと思う。</p>